

緑茶用多収品種 ‘さやまあかり’

防除が難しいクワシロカイガラムシにとても強い品種です。

特徴

- ◎ 収量が多い‘さやまかおり’に比べても多収であるため、やや早く摘採しても十分な収量が得られ、製茶品質が向上します。
- ◎ ‘やぶきた’と比べて萌芽期が同じで摘採期が1日早い中生種です。
- ◎ 難防除害虫であるクワシロカイガラムシに抵抗性を持っています。
- ◎ 製茶品質は、茶葉の色沢が‘さやまかおり’より鮮やかな緑色で、旨味と程良い渋味があります。

品種名	樹勢	一番茶			二番茶		発生程度			
		萌芽期	摘採期	収量 (kg/10a)	摘採期	収量 (kg/10a)	赤枯れ	青枯れ	炭疽病	クワシロ カイガラムシ
さやまあかり	やや強	4/12	5/9	308	7/2	548	やや強	中～強	弱	強
さやまかおり	強	4/11	5/9	290	7/4	400	やや強	強	弱	強
やぶきた	やや強	4/12	5/10	190	7/4	255	中	中	弱	やや弱

定植4～6年目の平均値。収量は単条植え定植7年目の値。



一番茶摘採期の新芽

一番茶新芽(第3葉)の葉色比較



やぶきた さやまあかり さやまかおり

‘さやまあかり’は‘さやまかおり’よりも葉の色が鮮やかな緑色をしているため、製茶した際の色沢に黒みがない。